

令和6年度全国学力・学習状況調査結果(概況)

1 実施学年・調査内容

- ◇ 実施学年 市立小学校(126校)・関係特別支援学校(1校) 第6学年
市立中学校(62校)・関係特別支援学校(3校) 第3学年
- ◇ 調査内容 ① 教科に関する調査(国語、算数・数学)
② 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

2 調査集計者数 児童数 7,046人 生徒数 6,615人

3 調 査 日 令和6年4月18日(木) ※質問調査は4月10日から4月30日の間で文科省が指定した日

主なポイント

令和6年度	小学校 国語		小学校 算数	
	正答数	割合	正答数	割合
本市平均	9.3 / 14 問	97%	9.6 / 16 問	95%
全国平均	9.5 / 14 問		10.1 / 16 問	

令和6年度	中学校 国語		中学校 数学	
	正答数	割合	正答数	割合
本市平均	8.5 / 15 問	98%	7.8 / 16 問	93%
全国平均	8.7 / 15 問		8.4 / 16 問	

「割合」…全国平均正答率に対する本市の平均正答率の割合

【結果1(国語)】

- 「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」に改善がみられる。
(小学校 全国比 R5: -2.5ポイント→R6:0ポイント、中学校 R5:-3.4ポイント→R6:-0.9ポイントに改善)
- 「知識及び技能」の問題に課題がみられる。
(小学校「言葉の特徴や使い方に関する事項」 全国比 R5: +0.6ポイント→R6: -2.7ポイント)
(中学校「情報の扱い方に関する事項」 全国比 R5: -1.8ポイント→R6:-1.6ポイントなど)

【結果2(算数・数学)】

- 「思考力、判断力、表現力等」の正答率に一部改善がみられる。
(中学校:数学「データの分布の傾向を読み取り説明する問題」 全国比+0.9ポイント)
- 「知識及び技能」の問題に課題がみられる。
(小学校:算数「割合を読み取る問題」 全国比-5.0ポイント)
(中学校:数学「文字を用いた式で表す問題」 全国比-7.0ポイント)

【結果3(児童生徒質問調査)】

- 「自分にはよいところがあると思いますか」が、小・中ともに前年度より改善がみられる。
(全国比 小学校:-2.2、中学校:-0.1)(前年度比 小学校:+1.6、中学校:+5.1)
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか」が、小・中ともに前年度より改善がみられる。
(全国比 小学校:-0.5、中学校:-1.8)(前年度比 小学校:+6.4、中学校:+7.2)
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」について、小・中ともに前年度より改善がみられる。
(全国比 小学校:+0.1、中学校:-2.6)(前年度比 小学校:+8.3、中学校:+11.2)
- 「授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」に、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合が、小・中ともに前年度より改善がみられるが、授業での活用方法(新規)については課題が見られる。
(全国比 小学校:+4.6、中学校:-9.8)(前年度比 小学校:+6.5、中学校:+3.4)
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」が、小・中ともに前年度より改善がみられる。
(全国比 小学校:-0.3、中学校:-1.2)(前年度比 小学校:+0.7、中学校:+3.3)

【今後の方向性】

- 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善の成果は表れているが、授業における「ICTの効果的な活用」や児童生徒の「知識及び技能」の定着に課題が見られる。今後は、「学びチャレンジリーディングスクール」や「文科省リーディングDXスクール」等の研究の実践事例を発信するとともに、GIGA端末を効果的に活用し、小中9年間の系統性を意識した授業改善に取り組んでいく。また、「個別最適な学び」や「補充学習の充実」のさらなる推進を図っていく(マネジメント支援訪問、学校力向上支援訪問 等)。

学力調査結果(経年推移) ※各教科

■ 各教科における本市と全国の平均正答率及び本市の全国平均正答率に対する割合(平成27年度～令和6年度)

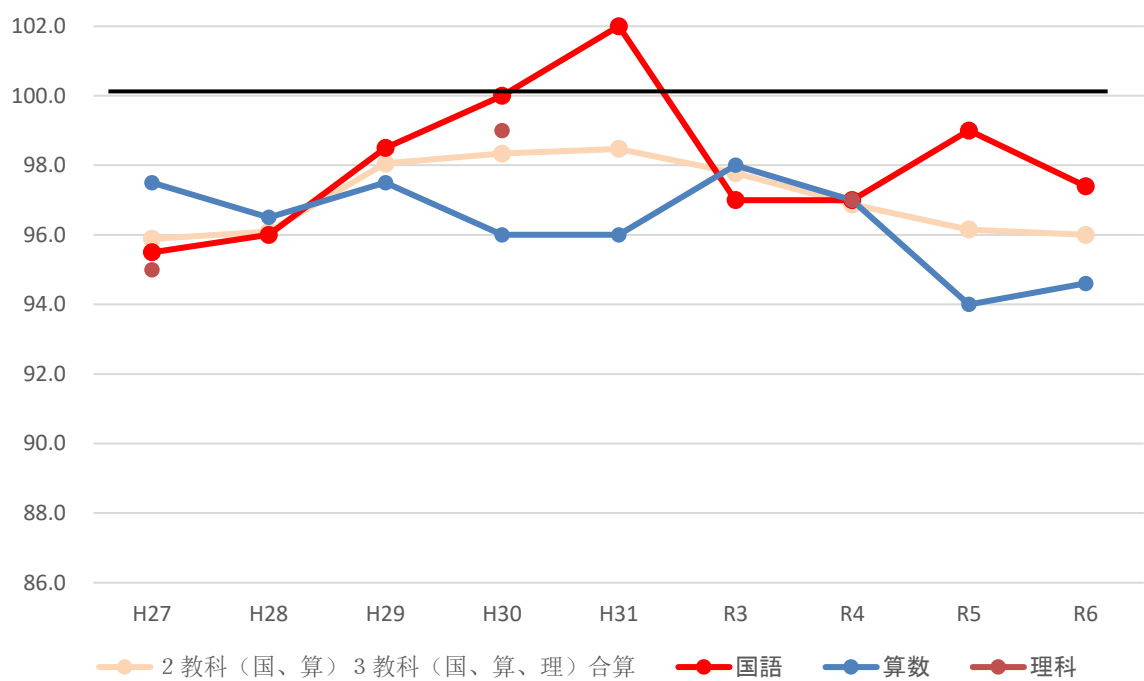
小学校		国語A	国語B	算数A	算数B	理科	合計
H27年度	本市	67	62	73	44	57	303
	全国	70	65	75	45	61	316
	対全国比	96%	95%	98%	97%	95%	96%
H28年度	本市	70	56	76	45		246
	全国	73	58	78	47		256
	対全国比	96%	96%	98%	95%		96%
H29年度	本市	74	57	77	44		252
	全国	75	58	79	46		257
	対全国比	98%	99%	98%	97%		98%
H30年度	本市	71	54	61	50	60	296
	全国	71	55	64	52	60	301
	対全国比	101%	99%	96%	96%	99%	98%
H31年度	本市	65		64			129
	全国	64		67			131
	対全国比	102%		96%			98%
R3年度	本市	63		69			132
	全国	65		70			135
	対全国比	97%		98%			98%
R4年度	本市	64		61		61	186
	全国	66		63		63	192
	対全国比	97%		97%		97%	97%
R5年度	本市	66		59			125
	全国	67		63			130
	対全国比	99%		94%			96%
R6年度	本市	66		60			126
	全国	68		63			131
	対全国比	97%		95%			96%

中学校		国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語	合計
H27年度	本市	74	63	62	38	50		287
	全国	76	66	64	42	53		301
	対全国比	97%	96%	96%	91%	94%		95%
H28年度	本市	74	64	59	41			237
	全国	76	67	62	44			248
	対全国比	97%	96%	95%	93%			96%
H29年度	本市	77	70	62	45			254
	全国	77	72	65	48			262
	対全国比	99%	98%	95%	94%			97%
H30年度	本市	75	60	63	44	64		306
	全国	76	61	66	47	66		316
	対全国比	99%	99%	95%	93%	97%		97%
H31年度	本市	69		56			51	176
	全国	73		60			56	189
	対全国比	95%		93%			91%	93%
R3年度	本市	63		55				118
	全国	65		57				122
	対全国比	97%		96%				97%
R4年度	本市	66		47		47		160
	全国	69		51		49		169
	対全国比	96%		92%		95%		95%
R5年度	本市	69		49			40	158
	全国	70		51			45	166
	対全国比	98%		96%			88%	95%
R6年度	本市	57		49				106
	全国	58		53				111
	対全国比	98%		93%				95%

※ 正答率と対全国比は詳細な数値で計算をしているが、表記は小数第一位を四捨五入し整数値にしている。
※ H31年度より従来のA問題(知識・技能等)とB問題(活用等)という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題としている。
※ R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、未実施。

全国平均正答率に対する割合(H27年度～R6年度)

小学校(国語、算数、理科(H27、30、R4のみ) 合算)



中学校(国語、数学、理科(H27、30、R4のみ)、英語(H31、R5のみ) 合算)

